

トムス レクサスRCF サイドディフューザー

このたびは、トムス サイドディフューザー（以下サイドディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。（2015年7月現在）

適応車種
レクサスRCF（USC10） 平成26年9月～

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. サイドディフューザー取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください
2. サイドディフューザー脱落防止のためボルト、ナットは確実に締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
サイドディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. ボルト、ナット取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと製品破損の恐れがあります。
4. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
5. 本製品装着により、標準ロッカーパネルモールディングより地上高が約25mm低くなります。
6. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。



構成部品 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



①サイドディフューザーL、R各1



②トムスエンブレム×2

③ボルト、ナット M6×16 ×24

取付手順

(イラストは、L.Hの説明図です。R.H側も同様に作業を行ってください。)



1. 車両からリヤホイールハウスプレートL/Rを取り外す（再使用しない。）
①サイドディフューザーを車両に仮合わせをして純正ロッカモール側に開ける穴位置のマーキング位置確認をする。



アドバイス

取り外した車両ビス、クリップ等は、再使用する。



2. 車両のロッカーパネルモールディング部のゴミ、ホコリをウエスで除く。

3. ①サイドディフューザーの先端、後端位置を合わせ位置関係を確認する。(図3. 参照)
下図①の穴位置は純正クリップを使用して①サイドディフューザーを仮止めをしながら②、③のように純正ロッカモール折り返し部に①サイドディフューザーを突き当たるようにすると位置決めがやり易い。

(下図画像はわかりやすい様に純正ロッカパネルを取り外しております。)



付きあてる



サイドディフューザーのキャラクターライン頂点と車両ロッカパネル先端と合わせる。

サイドディフューザー後端部と車両ロッカパネル後端部を合わせる

5. 6.



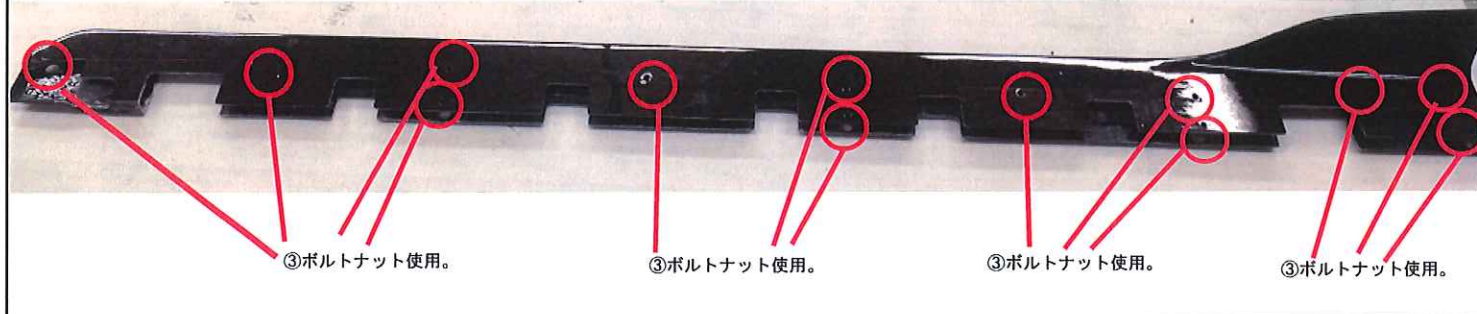
5. ①サイドディフューザー取付穴位置をマーキングしたら、①サイドディフューザーを取り外し、純正ロッカパネルを整備書を参考に車両から取外す。

注意

穴あけをする前に再度取り付け位置を確認する。

6. 6.5Φドリルを使用して5.にてマーキングした場所に③ボルト、ナット用の穴をあける。(片側12箇所)

7.



7. 上図を参照に③ボルト、ナットを使用して①サイドディフューザーを純正ロッカパネルへ取り付ける。

8. ①サイドディフューザーを取り付けた純正ロッカパネルを5.の逆手順にて車両へ装着する。

9. エンブレム貼り付け部位を脱脂し②トムスエンブレムを貼り付ける。

トムスエンブレム貼付け位置



お問い合わせ先
株式会社トムス
03-3704-6191
月曜～金曜 AM9:00～PM17:00